

四教科のアドバイス

国語

まず第一にまとまりのある本文（意見文、物語文）と様々なタイプの問題が出題されます。問題をときばきとどんなこなしていく能力が問われます。第二に、各設問の意図を正確に見抜き、本文に根拠を求めて解答を正しく選択したり記述したりする能力が問われます。解答の文末を「……こと。」とするか「……から。」とするかの見定めはもちろん、誤字や脱字にも注意して、ていねいに答案をまとめてほしいと思います。第三には言語感覚が問われます。外来語や慣用句、特殊で味のある言い回しなどに注意して文章を読むくせをつけてください。

算数

まずは正確な計算力を身につけることが大切です。毎日の練習で少々長い計算にも耐え得る力を養いましょう。その時に工夫をすることによって簡単に計算できる方法がないかを考えてください。工夫を考えながら問題を解くことで、様々な問題に対応できる応用力をも身につけることができます。文章題を解く時には、筋道を立てて考えることが重要です。自分がどのように考えたかを順序立てて式に表し、丁寧な解答を作るよう心掛けてください。

理科

私たちの身のまわりには様々な面白い自然現象があふれています。しかし、ほとんどの場合、それらに目が止まらずに見逃してしまいます。見逃さないようにするためにはたくさんの知識が必要なのです。まずは、面白いものを面白いと感じることができる好奇心と知識を身につけてほしいと思います。それができたらうえで、図やグラフの読み取り、起こることの予測、計算などができるように学習してってください。

社会

一つの用語を暗記するのではなく、その用語の背景や用語同士のつながりを把握する学習をしてください。具体的には「なぜこうなったのか」「この結果どうなったのか」と考えながら進めましょう。史料問題やグラフ・統計問題も出題されますので、資料集や地図帳なども見て、これらを読み解く訓練も必要です。また、簡単な時事問題もあります。普段からニュースや新聞を通じて、最近の日本や世界の動きもチェックしてください。